

雄物川を味わう  
茨島出張所ニュース

●ご意見・お問い合わせ先●

国土交通省 東北地方整備局  
秋田河川国道事務所  
茨島出張所

〒010-0065 秋田市茨島5丁目6-28

電話 018-862-4362

<http://www.thr.mlit.go.jp/akita/barajima/hyousi.html>

茨島出張所では、雄物川下流(河口～秋田市境)・旧雄物川(雄物川分岐点から0.3km)の管理をしています

## 雄物川総合水防演習 が開催されました！

5月28日(日)、秋田市茨島地先、雄物川右岸(秋田大橋上流)にて、雄物川総合水防演習が行われました。

雄物川流域8市町村(秋田市、横手市、湯沢市、仙北市、美郷町、大仙市、羽後町、東成瀬村)の水防団による水防工法の演習、地域住民の参加協力による避難訓練、災害時協定業者等による物資輸送訓練、自衛隊・警察・消防・日本赤十字等による救助・救出・救護訓練等の実施に加え、東北6県代表による水防技術競技大会を実施しました。全体の参加人数及び見学者合わせて約2000名の大規模な演習でした。



### 開会式

ラッパ隊の合図で点呼・整列を開始！

これから開会式です！



開会式では、国土交通大臣・秋田県知事・東北地方整備局長らが挨拶をし、各団体を激励しました。



### ～雄物川総合水防演習 開始～

#### 災害対策本部の設置 河川巡視の出動

雄物川流域にて大雨が降っていると想定し、秋田河川国道事務所では災害対策支部を設置し、万が一の事態に備えた監視体制を敷いて、厳重な警戒にあたっています。



【対策本部車】  
災害が起きたときに現場の本部として使用される車両



防災ヘリコプター  
『みちのく号』出動！



ドローンによる  
現地調査

## HOT LINE

HOT LINEとはリエゾン(現地情報連絡員)からの情報を基に、情報の提供や、依頼・要請をすることを言います。

秋田河川国道事務所 今野所長



穂積秋田市市長



現在の雄物川の状況などの情報を提供している様子。(訓練)

## 水防工法

大雨による増水の影響により川が氾濫する恐れがあり、堤防が崩れる危険性があるときに用いるのが水防工法です。雄物川流域の8市町村の水防団の方々が訓練に汗を流していました。

半鐘の合図で  
水防団出動!



### 積み土のう工

洪水によって堤防が沈下した場合や増水する速さが著しく、水が堤防を越えるおそれがあるときに用います。水防工法の中で最も基本となる重要な工法です。この工法は越流水深に応じて、3段積み、4段積み、5段積みがあります。

### 木流し工

川側斜面に投入した樹木の抵抗力により、堤防表面の河川流速を低減させ、深掘れ(洗掘)の進行を抑える工法です。



### 川倉工

急流をゆるやかにし、堤防洗掘の拡大を防ぐ工法です。丸太をいかだのように組み、水中に固定することで水あたりを緩やかにし、堤防の決壊、崩壊を防止します。

## 東北水防技術 競技大会

水防技術とは、台風等の大雨で川が氾濫しそうな時に、それを防ぐための技術で、東北水防技術競技大会は東北6県の水防団の各代表が水防技術を競う大会のことです。



月の輪工



競技大会の審査のポイントは、早さや規律性などで、各代表の水防団員が、連携をとりながら、すばやく行動する姿は圧巻でした。一般の見学者の方々も普段見ることのない水防の実技を真剣に見ている様子でした。

今年度の優勝は福島県代表です。  
おめでとうございます。  
各県代表の方々も大変お疲れ様でした。



シート張り工  
月の輪工



シート張り工

## 体験水防

防災エキスパートによる説明のもと、国土交通大臣、県知事、市長、関係機関が土のう作りをし、積み土のう工の体験水防を行いました。

金足農業高校・秋田工業高校の生徒さんによる、体験水防(積み土のう工)を行いました。



土のう作りをしている様子



土砂を踏み固めている様子

金足農業高等学校



土砂を踏み固めている様子

秋田工業高等学校



土のうを積んでいる様子

## 応急給食訓練

【献立】

- ・おにぎり
- ・梅干し

日本赤十字社秋田県支部の赤十字奉仕団の皆さんが応急給食の訓練で実際に応急給食を作りました。奉仕団の皆さんが手際よく作業を進め、大きな釜で作っている様子は迫力がありました。



## 救助・救出救護訓練



雄物川での水難事故が発生し、消防がボートから救助している様子



ボートから救急車へと患者が運ばれている様子



救助された患者の処置を行っている様子を大型ビジョンで映し出している

## 自衛隊による 救助訓練



雄物川が氾濫、浸水範囲が拡大し、取り残された住民の救助のため、HOTLINEにて、穂積市長から佐竹知事に自衛隊の派遣要請が出され、佐竹知事から自衛隊へ派遣要請をしている様子です。  
ガレキの中に被災者がいることを想定し、救出し、被災者はこの後会場内にある日本赤十字社の救護テントに搬送されました。

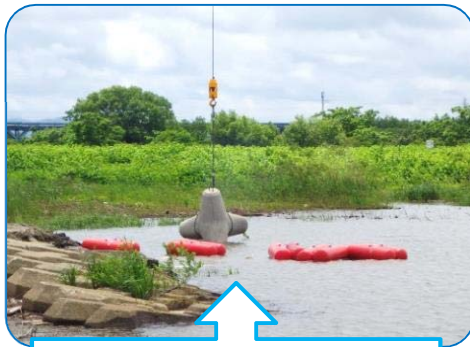


## 避難訓練

地元住民の大住地区自主防災連絡協議会の皆さんによる避難訓練が行われ、避難所となっているテントでは、赤十字奉仕団の皆さんが応急給食の配付を行いました。



## 応急復旧 訓練



【コンクリートブロック投入】  
堤防決壊箇所の拡大防止のためコンクリートブロックを投入する訓練の様子。



【排水ポンプ車稼動】  
宅地等にたまっている水を川に排除する訓練の様子。

## 防災展コーナー



【雄物川改修100周年記念パネル展】

雄物川は今年で改修100周年を迎えます。9月にもイベントを開催予定です。



【降雨体験装置】

豪雨を身体で体験することができます。



雄物川総合水防演習を無事に終了することができました。  
関係機関、地域住民の皆さま、ご協力有り難うございました。